

# 令和3年度の執行体制について

令和3年4月1日実施



京都府

# 令和3年度 執行体制の見直しのポイント

- ◆新型コロナウイルス感染症対策に万全を期す
- ◆夢や希望が持てる京都府の実現に取り組む

- ①新型コロナウイルス感染症への的確な対応
- ②府民生活を守る雇用の維持・確保と迅速・柔軟な経済対策の実施
- ③文化首都・京都の発信力の強化
- ④DXの推進
- ⑤子育て環境日本一の推進

## ①新型コロナウイルス感染症への的確な対応

◆府民の命と健康を守り、安心して生活できるよう、万全を期す体制を整備【体制強化30名増】

○コロナ対策の要となる本庁3部の体制強化のため27名を増員するとともに、他部からの応援体制を構築

○最前線に対応に当たる保健所保健師の体制を強化（3名増）するとともに各広域振興局に緊急動員体制を構築

## ②府民生活を守る雇用の維持・確保と迅速・柔軟な経済対策の実施

◆府民生活を守るための雇用の維持・確保と京都経済を守り・支えるための体制強化

- 商工労働観光部に企画調整理事をトップとした「緊急雇用対策プロジェクトチーム」(仮称)を設置
- 現行体制を雇用対策や就業に繋がる人材育成を推進する体制に見直し

<現 行>  
人材確保推進室  
人材確保・労働政策課  
人材開発推進課



<見直し後>  
雇用推進室  
労働政策課  
人材育成課

- 産業労働総務課に緊急経済対策担当の参事をトップに「緊急経済対策チーム」(仮称)を設置

### ③文化首都・京都の発信力の強化

◆文化庁移転を契機とした文化首都・京都の文化・芸術などの発信力強化や大学の知の集積をさらに発展させるための体制整備

- 文化政策室に「参事」を設置し、国内外への発信力を強化
- 知事を本部長とする「大学改革等推進本部」を設置、事務方のトップとして「大学改革等推進本部事務局長」を配置し、府大学の改革や北山エリア整備等を強力に推進する体制を構築

## ④ D X の推進

◆デジタル庁の創設を踏まえ、社会全体でのデジタル化と行政でのデジタル化を一体として推進するための体制を整備

### 【社会全体のデジタル化】

- 企画理事をトップ、民間から「企画参事(デジタル担当)」を採用・配置するとともに、新たに「デジタル政策推進課」を設置
- デジタル技術を活用し、スマートシティ等の推進や社会的課題の解決に向けた施策を展開

### 【行政のデジタル化】

- 庁内の電子申請システムの拡充やキャッシュレスの推進
- 市町村における情報システムの標準化対応支援

## ⑤子育て環境日本一の推進

◆子どもや子育て世代を社会全体であたたかく「見守り支え合う」取組をより一層加速・展開するための体制を整備 【11名増】

○産後うつ防止等、妊産婦に対する包括的な支援を実施するため、「こども・青少年総合対策室」に増員

○児童虐待発生時に迅速・的確に対応するため、児童虐待に当たる人員を強化（3年連続）

## 人事異動規模・異動の特徴

- ・ 規模 1,400人台 (小規模)

※新型コロナウイルス感染症対策を継続して実施

- ・ 本庁部長・広域振興局長は11名の異動

- ・ 積極的な女性職員の登用を継続

※女性管理職比率 17.0% (過去最高) (②15.7%)

※主要ポストへの女性登用の拡大

・ 部局長会議メンバーのうち4名が女性 (過去最高)